

激甚災害と練馬区

～「土木」の周辺を考える～

地理学者・前 芝浦工業大学教授
より ふじ たかし

寄藤 昂氏

～講師プロフィール～ ※詳細裏面

1944年 長野県生まれ

専門は、社会地理学、地理情報学。

1968年 早稲田大学卒、1971年 立教大学大学院修了、
(株)芙蓉情報センター 総合研究所、早稲田大学理工学研究所、
中京女子大学、芝浦工業大学を経て(株)情報環境研究所 研究
顧問



“科学の目”でもう一度練馬を見てみよう

～講義内容～

土木工学と地理学

溢れた水はどこに流れ、堪えるのか／俯瞰で見る、相対化する／「流れ」と「繋がり」

自然地理学の目で「練馬区」を見る

すべては「地形図」から始まる／「土地条件図」と「治水地形分類図」／「地理院地図」で何ができる
か

社会地理学の目で「練馬区」を見る

大規模災害時・安全な練馬／大規模災害時・周辺の地域は／「逃げ出す街」と「逃げ込む街」

日時

令和2年 1月17日(金)

講義 14:00～15:30 現場視察 15:45～17:15(予定)

※1

場所

ココネリ3階 研修室1

定員

60名程度(現場視察 30名程度) ※2

申し込み
お問合せ

お申し込みは各課の連絡委員まで(締切 12月25日)
お問合せ：練馬区土木技術研究会 事業部 研修会担当 田添(内線：8333)

※1 予定時刻は前後する場合があります。 ※2 応募者が多い場合は抽選とさせていただきます。

今回の研修では、集中豪雨などの自然現象が激甚災害となるメカニズムとその後に起こる現象について、自然科学と社会科学双方の視点で解説頂きます。その中で、土木行政に求められる役割について考えるだけでなく、地理学が到達した知識や経験についても触れて頂き、土木のフィールドで活用できるノウハウも学びます。

講師プロフィール(詳細)

寄藤 昂(よりふじ・たかし)氏

1944年 長野県生まれ

職歴・学歴

2015年04月～

(株)情報環境研究所 研究顧問

2006年04月～2015年03月

芝浦工業大学 工学部共通学群教授

1995年04月～2006年03月

中京女子大学 人文学部アジア学科教授

1983年07月～1995年03月

フリーのコンサルタントとして

(財)横浜・神奈川総合情報センター 客員研究員

(株)中村勉総合計画事務所 取締役などを兼任

1974年04月～1983年06月

(株)芙蓉情報センター 総合研究所 主任研究員

1971年04月～1974年03月

(株)芙蓉情報センター 開発部・科学計算部

1971年03月

立教大学大学院 地理学専攻修士課程 修了

1968年03月

早稲田大学教育学部 卒業

その他の活動

2013年度～

早稲田大学オープンカレッジ 『川・地域・歴史』などをテーマに講義担当

2010年度～2018年度

国交省国土地理院「治水地形分類図更新(九州)判定委員会」委員長

2006年度～2007年度

国交省中部地方整備局「木曾川水系流域委員会」委員

2006年07月21日

国交省中部地方整備局 庄内川河川事務所 講演会『なぜ川は氾濫するのか』

2004年度

国交省中部地方整備局 庄内川河川事務所「庄内川治水地形分類図・改訂版」監修

1998年度～2002年度

国立環境研究所「地球環境保全と土地利用検討会」委員

1994年度～1995年度

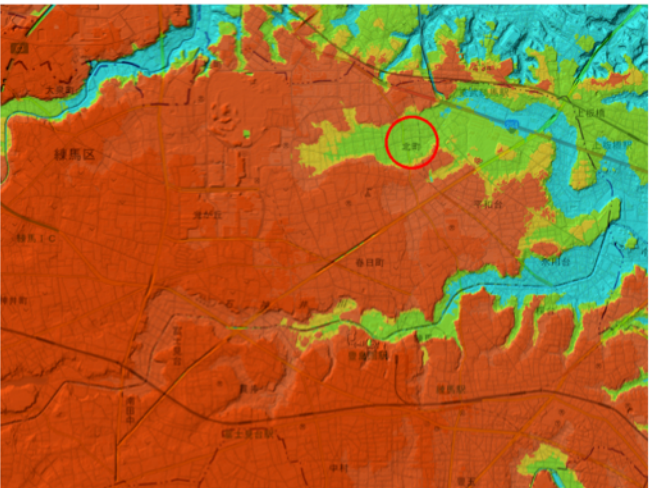
建設省建設大学校 環境地理情報専門コース講師「環境調査手法」担当

他に、80年代～90年代、お茶の水女子大学、日本大学、東洋大学、愛知県立大学、愛知大学、岐阜大学、専門学校国土建設学院など、非常勤講師として出講多数。

視察箇所1 田柄二丁目地先

練馬区の地形は“台地と台地面を刻む浅い谷”で構成されています。

今は暗渠化されている練馬区第三の川「田柄川(見えない川)」によって作られた地形とその「川の記憶」を読み解きます。



視察箇所2 板橋区徳丸八丁目地先

周辺自治体と練馬区は地続き。周辺地域で起こる事は練馬区とは果たして無関係なのか。北町のすぐ北側に位置する板橋区の新河岸川右岸地区を訪れ、地形のダイナミクスを体感。社会地理学の視点から人の動きについても考えます。

